

2012年10月1日

日本燐寸工業会 ホーチミン視察報告

期間 平成24年9月12日-16日 ホーチミン市及び近郊
目的 印刷・パッケージ工場設立の為の初期調査
訪問先 ホーチミン近郊の3工業団地と3日系工場

視 察 内 容

I 工業団地 詳細別紙参照

II 工場見学

● ベトナム社会主義共和国の概要

民族構成：90%がキン族（ベト族）

人口：8,787万人（2011年） ホーチミン712万人（2009年）

通貨：ドン（VND）1,000ドン=約4円（平成20年時7円）

言語：ベトナム語

日本との時差：-2時間 日本からの所要時間：5~5時間30分

訪問時気候：平均気温24~31℃ 雨期（猛烈な短時間のスコールあり）

ワーカーの月給：1万~12,000円

物価：市内路線バス15円 理髪店100~200円 たばこ50円

コンビニ：水（500ml ペット）10円 ビール（333）30円

海外ブランドのお菓子 日本のスーパーで100~150円→50円
（外国製品は高め）

1) TOWA VIETNAM Co., LTD

（ニョンチャック5工業団地）

面談者 中島社長

業種 プラスチック製洗濯用品等製造

設備 射出成形機、天井クレーン、ミキサー、カッター

従業員 350名 邦人 2名

会社設立 2009年4月

親会社 東和産業株式会社 和歌山県海南市

（プラスチック製日用品製造販売）

資本金 9000万円 従業員 130名 設立 1948年

- 進出の動機は中国での OEM 生産が品質不均一等の不満がありベトナムに工場を作ることにした。 工場設立に当たっては土地勘もなく全くの白紙からスタートした。 日本機械メーカーのベトナム代理店に当地での資材調達の可能性から種々調査に協力して貰い操業に漕ぎつけた。(その時の代理店担当者が現在当社の副社長) 海外工場は今のところベトナムのみ。
- OFF SET や軟包装印刷物を主に在ベトナム台湾系企業から調達している。原紙を輸入しているので品質は中国より良い。 ただ多品種小ロットになるので嫌がられることがある。 輸入品を使うので価格は安くはないと感じる。
- 社内での使用言語は中国語/英語。 社長は中国での勤務経験があり、周りは台湾系の企業が多く中国語が分かる工員もいる為。
- 今年は停電もなく操業は順調で、通勤も一部高速が開通してホーチミン市から 1 時間弱、人集めにはさほど困らない等環境には概ね満足しているが今後労働争議が少し心配である。 この地域では比較的ストは少なかったが、当社では昨年初めて 1 日ストがあった。 当地のストは会社側に通告もなく、組合が主導している訳でもなく労使交渉がし辛い。 主な原因は賃金問題だが毎年政府が最低賃金を引き上げるのでその時の対応が難しく引き上げ時期を前倒しするなどの対策をとっている。 今年から人民委員会が争議に介入する制度が始まったので改善されると期待している。

TOWA VIENAM 事務所棟前



2) TAISEI BIJUTSU PRINTING (VIETNAM) Co., LTD

(ミーフック 3 工業団地)

面談者 清水工場長
業種 印刷業
設備 プリプレス 厚紙ハイデルベルグ 4色印刷機 化粧・折・綴じ・
型抜き・サックマシーン・厚紙パッケージ加工
従業員 40名 邦人 常駐 3名 応援 1名
会社設立 2009年1月

親会社 (株)大成美術印刷所 東京都中央区 (印刷業)
資本金 4000万円 従業員 100名 設立 1953年

- ベトナム進出の動機は直接的には日本での最大手取引先(株)キングジム(文房具)の進出に伴い同じ工業団地に設立。又ベトナムでは印刷業が発展途上、ベトナム南部の高温多湿で紙を扱いやすい点も考慮。日系印刷業としてはベトナム南部への第1号ライセンス取得。北部では昭栄印刷が2011年に工場設立。
- 生産品目はカタログ、マニュアル製本、台紙パッケージ等に加え特許を持つ「ななめもーる」。現在顧客はキングジムに加えモーリス(釣り針)、トンボ(文具)、ブラザー(ミシン)その他(アスクルのような)通販、販促用カタログ類で日系企業多数。
- 原紙は国内卸商から購入している。いずれも輸入紙を加工しているが包装技術が悪く不揃い等で扱いに苦労している。(国営企業にクレームをつけたところ逆に供給を停止された) 全数検品等の自己防衛策を考えている。インクは日系工場製品でも品質が不均一で使い難い。水も品質が悪い。
- 箔押・ラミネート・合紙を外注に頼っている為品質管理が難しい。発注価格を上げてでも下請けの育成が必要と感じている。
- ベトナム北部に進出した昭栄印刷が操業1年で増設を決めたとのニュースがあるが当社は立ち上げ時の機種選定に問題あった為に未だそこまでの発展には至っていない。(本社が薄紙主体で厚紙パッケージは少し不慣れ?)
- 山本社長が不在で経営上の質問は出来なかった。いろいろとご苦労はおありのようだが上記のように顧客は広がって来てそれなりの成果は出ていると見受けられた。

TAISEI BIJUTSU 工場長からの説明



3) VARIVAS VIETNAM CO., LTD

(ミーフック 3 工業団地)

面談者 室屋社長
業種 釣り針製造
設備 作業台
従業員 80名 邦人 1名
会社設立 2007年

親会社 (株)モーリス 埼玉県入間市
(釣具製造販売 「バリバス」ブランド)
設立 1980年

- 進出動機は日本市場の限界とアジアの成長性の取り込み。若く手先の器用な労働力。(主な工程は釣り針にナイロン糸を繋ぐ作業)
- 従業員との関係を重視し熟練した作業員、事務員の育成を図っている。好関係を築くのは現場主義を徹底し従業員を良く見て処遇することが肝要。当工場の生産性は現在では日本比170%まで上がっている。人件費が安いからといっていたずらに人数に頼らず、逆に人数を削りその分を賃金UPにあてる方針をとっている。

- ベトナム全般に言えることだが原料素材不足で現地調達が難しい面がある。 当社の場合はパッケージ関係は 80%がベトナム製だが、PP ブリスターが現調出来ず日本から輸入するためコスト高の原因となっている。
- 役所関係は書類が多く一人駐在には負担になっている。
- 工場設立コスト、人件費、企業所得税、成長性、世界的な市場を視野に入れれば海外移転しかない。
- 室屋社長は前職が呉服絵付け職人、トラック運転手、プロのアユ釣り師と異色の経歴で、ベトナムも工場経営にも全く縁がなかったが当社立ち上げにあたり本社社長より突然工場経営の依頼を受け 5 年前に現職についた。 全くの素人が工場を始めていろいろとご苦労された後見事に経営を軌道に乗せるという経験談や独特の工場経営哲学をご披露頂き興味深くお話をお聞きした。(室屋社長は工場内の宿舎に一人住まいされている。 当団地では日系企業は 2-3 社を除き工場外の都市部又はホーチミン住まいである)



ロンドウック 工業団地

日系工業団地（双日・大和ハウス工業）で、2013 年中に完成予定。造成中の敷地を日本企業の駐在および現地スタッフの案内で見学した。

Ⅲ ベトナムの印刷業

従来ベトナムでの印刷業は規制業種であったが WTO 加盟後外資に開放しつつある。日系企業の多くはパッケージやカタログ類を海外からの材料支給やベトナム系印刷会社から仕入に頼っている。 昨今ベトナム系印刷会社でもコンピューター技術の進歩で品質が上がり日系企業もそれなりの評価はしているが、良質の印刷、パッケージには依然として大きな需要があると思われる。 現に日系のパッケージ関係では訪問した大成美術印刷に加え北部（ハノイ近郊）で新潟県の昭栄印刷が進出済である。 同社は 2011 年末に操業開始したが、早くも医薬品や化粧品等のパッケージ需要が好調として 2013 年夏には生産量を 3 倍まで増設し家電製品取扱書やカタログ類の受注もめざすと発表した。 売上ベースで 13 年 6 億円から 15 年 15 億円を計画している。 又大日本印刷がジャンプの小分け袋等トイレタリー関係の軟包装工場を 2013 年 4 月に稼働開始、売上 50 億円を予定している。

今回は時間に余裕がなかったので工場立地の調査が主体となったが、原紙、インクの購入先やコスト、又顧客等市場の更なる調査が必要となる。 パッケージ、カタログ類の印刷には殆ど輸入紙が使われているのでベトナム系の輸入商社による輸入後の流通過程や加工技術の調査が必要である。 因みにベトナムの紙輸入は年間 123 万トン（2012 年推計）で、相手先は中国、韓国、マレーシア、インドネシア等となっている。 これらの国とは EPA/FTA があり以下のとおり特惠輸入関税が適用される。

| Countries / HS code | 4802 | 4810 |
|---------------------|---------------|-----------------|
| China | 3% | 5% |
| Korean | 3% | 5% |
| Malaysia/Indonesia | 0% ASEAN 協定 | 5% ASEAN 協定 |
| Japan | 2.5%-22% 日越協定 | 3%- 5% -6% 日越協定 |

HS code = 貿易商品の国際的な統一コード

4802 印刷用を含む紙・板紙 4810 表面加工した紙・板紙



TAISEI BIJUTSU

IV 総括

ベトナムは CHINA+1 の最有力候補として注目され特に一昨年来日系企業の進出ブームが加速している。今回訪問した 3 社とも操業開始以来 3-5 年を経過しているが概ね順調に業績が推移している様子であり、所期の進出目的を達しているものと思われる。見聞するところでもおおかたの日系進出企業は順調で生産規模を拡張するところが相次いでおり中国に代わる生産基地としての存在感が高まっている。

ベトナムでの工場経営では主なデメリットとして電力不足、労働力不足、賃金上昇、インフラ（道路、港）の未整備による物流費高、工場用地代の上昇が挙げられるが、

- 1) 電力については今年の雨季は降水量が多く又 3 カ月ごとに電気料金の見直しがされているため電力会社のモチベーションも高く現状充足されている。今後は火力（将来は原子力）発電の増設もあり深刻な水不足がなければ改善方向。
- 2) 労働力は不足と伝えられるが、TOWA VIETNAM があるニョンチャクは地域的に労働力が比較的豊富、TAISEI/VARIVAS があるミーフックは地元人口が少なく不足がちだが両社ともに多くの従業員を必要とせず不足が顕在化していない。ミーフックで数 100 人単位のワーカーを抱える工場は不足を嘆いており、ミーフックの弱点となっている。（新都市計画でどこまで人口を増やせるかが鍵となる。）全般的には欧州経済危機等の関係で一時に比べ多少需給は緩和している。
- 3) 賃金の上昇は急ピッチでホーチミン近郊の場合昨年は都合 3 回の賃金改定で 30%以上 UP したが、今年から来年にかけ更に最大 36%UP を政府が検討しているとの報道もあり進出企業にとり大きな問題となっている。（ただベトナムドンが下落しているなのでその分は相殺される。3 年前と比較し円ベースでは殆ど上がっていないとも言われ、中国やタイに比べると未だ競争力がある）
- 4) 見学した 3 工業団地とも現状ホーチミン市内からの通勤や港湾までの距離は短いものの道路事情で時間がかかるという欠点があるが、2013 年末には建設中の高速道路が完成する予定（？）であり改善が期待される。港湾は 2 年前にカイメップ深水港が開港し拡充が続いているので 1-2 年で全般的な混雑緩和やリードタイムの短縮が期待できる。
- 5) 土地所有権はホーチミンに近いある程度経営に信頼が置ける団地では US\$100/m² を超え、50km 以上郊外でも US\$40-60/m² まで上がっている。各工業団地も中小企業向けにレンタル工場の設置や土地区画を小さくするなど誘致を積極化している。レンタル工場は初期投資を抑えるという効果はあるが殆どの工業団地では概ね 3-4 年使用料を払うと 40-50 年の土地使

用権を買うのと同じコストになるので操業開始 2-3 年で自前の工場に移転するかどうか目途を立てるのが望ましい。

- 6) 為替については慢性的に輸入超過でありドル不足にありベトナムドンはドルに対し常に弱含みである。製品の再輸出をする外国企業はヘッジが可能だが、海外から原材料を輸入し製品を国内販売する企業は為替差損を抱えることが多く注意が必要である。為替の予約は出来ないのでリスク回避には製品の一部を輸出するなどの方策が必要になる。

以上のようなデメリットはあるが CHINA+1 としては他の東南アジアと比較しても地理的に日本に近い、労働力のコストと質、インフラが整備されつつある、市場としての将来性がある等を考慮すれば優位にある。日本企業のベトナム進出はこの 1 年で加速しておりホーチミン日本人商工会への加入企業数は次のとおり増加している。

2010 年 4 月 482 社
2011 年 4 月 497 社
2012 年 4 月 560 社

この他にも商工会に加入していない中小企業も多数あると思われる。比較的开発が早かった工業団地のレンタル工場は満杯が相次ぐなど依然としてベトナム南部は日本の中小企業にとり海外進出先の有力候補となっている。

以上

VARIVAS VIETNAM 釣り針製造



工業団地 地図



ホーチミン近郊レンタル工場概要比較

| | | NHON TRACH 3 (VN系) | | LONG DUC(日系) | MY PHUOC 5 (VN系) | |
|----------------------|----------------|----------------------|----------|--------------------|----------------------------|--|
| 位置 | ホーチミン市 | 東へ35KM 70-90分 | | 東へ 40KM 70分 | 北へ60KM 90-100分 | |
| | カットライ港 | 44KM 80-100分 | | 40KM 60分 | 60KM 80-120分 | |
| | 空港 | 現在 | 75KM 90分 | 45KM 90分 | 50KM 80分 | |
| | | 新空港(2020) | 10KM 20分 | 14KM 20分 | 50KM 60分 | |
| | 高速道路 | 南北高速 2013年末 | | 南北高速 2013年末 | タンバン高速 2013年末 | |
| レンタル工場面積(M2) | | 512M2+256M2xn | | 500-2,000M2 | 360M2+180M2xn Max. 1,080M2 | |
| 最短リース期間 | | 3年以上 | | 3年? | 5年以上 | |
| 団地経営期限 | | 2057 | | 2057 | 2057 | |
| レンタル料 (M2/月 VAT別) | 工場 US\$4.00 UP | | 未定 | 360M2 | US\$6.00 | |
| | 事務所 US\$5.00 | | 未定 | 540M2 | US\$5.50 | |
| | | | | 1,080M2 | US\$5.00 | |
| 管理費(M2/年) | | US\$0.50 | | US\$1.02 | US\$0.48 | |
| その他付帯費用 | | 固定資産税 | | 未定 | 固定資産税込 営業税 300VND | |
| 免税他優遇措置 | | 契約後設備設置までのレンタル料免除 | | 未定 | 12年末までの先着100社はレンタル料50%OFF | |
| 電気/kwh | | 国営電力 VND770-25,600 | | 省営電力 \$0.046-0.132 | 国営電力 VND1,128-2,049 | |
| 水道/M3 | | VND6,200 | | US\$0.49 | VAT込み VND8,300 | |
| 排水/M3 | | USD0.32 | | USD0.32 | 消費量x80%XUS\$0.25 | |
| 床重量/M2 | | 25t | | 10-15t? | 15t | |
| 通信 | | ADSL→光ファイバー化 | | 光ファイバー | ADSL+光ファイバー | |
| 労働力 | | 良好 100%地元 スタッフ 都市部から | | 70%地元 スタッフ都市部 | 30%地元 スタッフ確保難? | |
| 賃金 | | 250-300万ドン | | 250-300万ドン | 250-300万ドン | |
| 工員宿舎 | | あり | | 無し(外部あり) | あり | |
| 邦人住環境 | | 2020年新都市 | | ホーチミン | 1,000Ha新都市建設中 | |
| 管轄税関 | | 団地内 | | 団地内 | 団地内 | |
| 投資認可支援 | | ワンストップサービス | | ワンストップサービス | ワンストップサービス | |

| 支援体制 | 日本語 (SOLTEC社) | 日本語 (双日 / 大和ハウス) | 日本語 BEGAMEX邦人 |
|--------------------------|--|--|--|
| 日系企業 | 東和 田中 プラス YKK | LOTECOには53社 | 堀田 長崎 (精密機械) MY PHUOC 1-3には多数。大成美術、大日本印刷 (軟包装) |
| 入居時期 | 2012年6月 | 2013年8月 | 2012年11月 |
| 将来の移転 | 可能 | 可能 | 可能 |
| 土地最低区画 | 5,600m ² | 10,000m ² | 柔軟に対応 (3,000m ² ?) |
| リース土地代金 / m ² | US\$60 | US\$90 | US\$35 |
| | ベトナム系だが日本語を話すスタッフと既に当団地に入居済の日系企業が代理店として販売活動。当団地は1期から6期までの計画があり大規模。入居企業から団地経営に対する大きな苦情はない。周りは台湾系、続いて韓国系の工場が多い。高速道路が完成すればホーチミンまで40分程度となる。また港湾へも近い。周辺は30万人程度の人口を抱え人集めは比較的容易。海拔20m程度の高地で水害の恐れは少ない。電力は比較的安定。日系金型メーカー1社が入居済。 | 双日主体で運営 (同社は隣接のLOTECO工業団地で成功。プレゼンもLOTECOで受けた)。全て日本式のサービスが売り物だがコストは高くなる。レンタル工場の条件は今年10月末に決定する。高速道路完成すればアクセス改善される。周辺人口は多いので現状労働力確保は出来ているが競合工業団地も多く将来は？。土地代金は他団地に比べ高いがレンタルは同様に高いと売れない為検討中。団地も造成途中で建設中の工場もない。海拔40m。省営電力会社の協力で電力は安定 | ベトナム系だが日本人と日本語を話すVN人スタッフ3名で販売活動。既にMY PHUOC1-3に多くの日系企業が入っており実績ある (韓国、台湾企業が多い)。5は最深部にありアクセスが難点だが2013年末にホーチミン市東北部までの高速道路が完成すれば多少は改善される。また付近に新都市 (東急電鉄も参画) が建設中で将来住環境は大幅に改善されここに居住すれば遠距離通勤から解放される。周辺人口が少ない為工員寮や分譲アパートを増やし確保を図っているが大量の労働力確保は難しい。2年前は頻繁な停電に悩まれたが今年も安定 (降雨量次第)。海拔25-30m。日系2社と交渉中。 |

NHON TRACH工業団地のプレゼンテーション



NHON TRACH工業団地事務所前



MY PHUOC工業団地 (BECAMEX)プレゼンテーション



日 程 表

| 歌 | 月日(曜) | 地 名 | 現地時刻 | 交通機関 | 予 定 (宿泊地) |
|---|--------------|--------------------------|--------------------|--------------------|---|
| 1 | 9月12日 (水) | 関 西 空 港 発 ホ ー チ ミ ン 着 | 10 : 30 14 : 00 | V N 3 2 1 専 用 車 | 空路、ホーチミンへ 《所要時間：5時間20分、時差-2時間》 着後、ホテルへ (ホーチミン泊) |
| 2 | 9月13日 (木) | ホ ー チ ミ ン | 午 前 午 後 | 専 用 車 | Long Duc (ロンドゥック) 工業団地 NHON TRACH 3 (ニョンチャック 3) 工業団地 (ホーチミン泊) |
| 3 | 9月14日 (金) | ホ ー チ ミ ン | | 専 用 車 | MY PHUOC 5 (ミーフック 5) 工業団地 (ホーチミン泊) |
| 4 | 9月15日 (土) | ホ ー チ ミ ン | 夜 | 専 用 車 | メコン・デルタ (ミトー) 空港へ (機中) |
| 5 | 9月16日 (日) | ホ ー チ ミ ン 発 関 西 空 港 着 | 00 : 20 07 : 20 | V N 3 2 0 | 空路、大阪へ 《所要時間：4時間50分、時差+2時間》 到着後、解散 |

■利用航空会社：VN (ベトナム航空)